

001 なでしこパトロール



掘削機に登り、現場の安全を点検



女性目線で現場を点検

参加者で意見交換を行い、さらなる現場の安全向上を図ります

なでしこパトロールとは、災害時に必要な人材・燃料・資機材・食料等の相互支援のため、地域外の建設企業と連携する取組である「なでしこBC※1連携グループ」が相互に連携する建設企業等の活動の一環として、工事現場の安全衛生面や作業環境の状況等を女性目線で評価し、改善に繋げる取り組みです。平成24年度から実施し、現場の安全施設、人や重機が動く動線（バリケード等）、休憩室、トイレなどを細かくチェックして、安全対策や職場環境の改善に成果をあげています。

「なでしこパトロール」についてのお問い合わせ先

(株)井上組ホームページ
<http://inouegumi.hippy.jp/>

002 阿波なでしこ技術サロン

徳島県技術士会 ※2では、平成25年度に女性部会が誕生し、平成27年度には女性部会活動として「第1回阿波なでしこ技術サロン」が開催されました。この「阿波なでしこ技術サロン」は、技術者を目指す女子学生や女子社員を対象として、気軽に意見交換できる場を提供することで、女性技術者の育成とより良いネットワークづくりを行うことを目的としています。平成27年度の開催では、参加者を2つのグループに分けて、お茶とケーキをいただきながら楽しく意見交換を行い、グループ発表により話題を共有しました。参加者からは、終了後のアンケートで「貴重な話が聞けて良かった」「これからも参加したい」「もっと多くの女子学生や女子社員に参加してもらいたい」など、好意的な意見を多くいただきました。これからも活動を継続し、女性技術者の育成とネットワークづくりに寄与していきたいと考えています。



グループワークの様子

グループ発表のまとめ

徳島県技術士会ホームページ
<http://www.tokushima-pe.jp/>

徳島県技術士会女性部会 問合せ先 メールアドレス
fumihana@ma.pikara.ne.jp (部会長・花岡まで)



「見る」「知る」「働く」をキーワードに、様々な建設産業情報を発信

建設産業戦略広報推進協議会

建設産業で働く女性がカッコイイ <http://genba-go.jp/know/woman/>
 建設業女性の活躍応援ケースブック <http://genba-go.jp/know/woman/casebook/>



建設業における女性活躍推進への取り組みや活動を紹介

一般社団法人日本建設業連合会

けんせつ小町リーフレット
http://www.nikkenren.com/sougou/pdf/komachi/kensetukomachi_leaf_03.pdf



輝く女性、輝きたい女性を応援する各分野のリーダー達の輪を広げる

輝く女性応援会議

<http://kagayaku-josei.amebaownd.com>

徳島県

K OISURU-KENSETSU

— 恋する建設 —

知らなかつた「女性技術者」の全て

W WOMAN ENGINEER 2016

MEANINGFUL WAYS OF WORKING AS A WOMAN

「発行者」徳島県土整備部建設管理課

〒770-8570 徳島市万代町一丁目一番地

[tel] 088-621-2523

[fax] 088-621-2864

※1 [BC] Business Continuityの略で、事業継続の意味です。ちなみに、BCP (Business Continuity Plan) は、事業継続計画です。
 ※2 [徳島県技術士会] 技術士とは、産業経済、社会生活の科学技術に関する21分野(機械、化学、建設、農業、森林等々)に関して、国家試験に合格し、国から高度な応用能力を備えた技術者として認定を受けた資格者で、徳島県技術士会は、徳島県内に事務所、勤務先または住居を有する技術士及び技術士補の会員から構成されています。

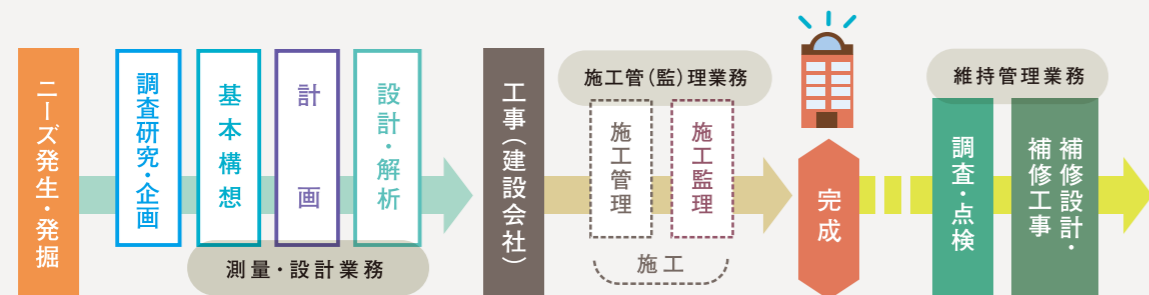
社会を支える建設産業

建設産業は、人が快適に過ごす住宅をはじめ、道路、河川、港湾、鉄道、空港、上下水道等の社会資本、また、工場や事務所等の産業施設、学校や病院等の教育・福祉施設等、社会になくてはならない施設を創り、維持管理するといった大切な役割があります。

また、地域に多大な被害をもたらす、時には大切な人命を奪う台風や豪雨、巨大地震等の自然災害から私たちの暮らしを守るため、建設産業は防災・減災対策を担っています。



建設の仕事、その流れ



建設産業の魅力



建設産業でもっと女性が活躍するには

多くの方が、「建設産業は男性の職場」というイメージを持たれていると思いますが、実際には、現場でいきいきと働く女性の姿を見かけることは珍しくなく、女性は建設産業にとって重要な戦力となっています。では、建設産業の現状は、女性にとって働きやすい職場環境となっているのでしょうか。第一線で活躍する女性の皆さんに、現実の職場環境や建設産業に対する夢や思いなどについて、お話しいただきました。

あなたはどう働いていますか?

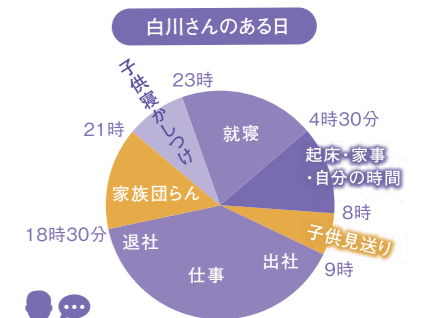
計画・設計・コンサルタント



おおらかな気持ちで…早起きは仕事効率アップ!

下水道・工業用水道などの設計
白川 美香さん(41)

大学卒業後から今の会社に勤めています。結婚後は産休・育休を取って復帰しました。仕事と育児の両立のコツは、あまり神経質になり過ぎず周りの理解と協力を得ることです。子供が生まれたことにより生活が朝型になり、独身の時より時間にメリハリが生まれ、仕事の効率を考えられるようになりました。



白川さんに奈加部長からひとこと

家庭と仕事を両立しながらの業務遂行は大変だと思うが、仕事に対して男性的視野も持ち、時間調整を行いながら効率的に仕事をしようとする姿勢が伺えます。

朝4:30起床で自分の時間をとることでフレッシュしていると話す白川さん/ニタコンサルタント(株)にて

上司の豊崎さんからひとこと

女性だからという甘えはなく、周りとのコミュニケーションも上手くなりながら、一人前の技術者になるために日々努力しています。男性では気づかない視点からの意見に期待しています!



尊敬できる上司がたくさんいる職場環境に恵まれています。技術だけでなく人としても成長していきたいです。自分が設計したものが、将来形になって現れることを楽しみにして、日々仕事に励んでいます。

知識、経験が糧に

地震・津波対策工事で人の命に関わる構造物が自分の設計で完成すると思うとモチベーションが上がります。ワクワク、ドキドキした気持ちで仕事に取り組んでいます。

若い頃の苦労や習得した知識、人との出逢いが現在の自分をつくってくれています。興味がないことが仕事を楽にする基本となっています。

橋梁設計、補修設計
石水 知美さん(24)

漁港・河川の環境設計
栗田 侑梨子さん(24)

32歳で技術士資格取得
地質調査のエキスパート
仲間 真紀さん(48)

仲間先輩から、かわいい後輩達へ

仕事の結果はすぐには出せなくても、時間をかけて1つのことに取り組めば知識や経験が積み重なって、それがきっと将来の糧になると信じます。/四国建設コンサルタント(株)にて



宮崎基礎建設(株)現場にて

どんな現場があるの？

建設資材の製造・建設会社



チームの力添えに感謝の日々

仮設工事重機オペレーター
浜口 智船さん(48)

工事前の仮設工事で掘削土が崩れないようにするための「矢板」を打ち込む重機オペレーターを担当しています。四国横断自動車道徳島ICの現場を担当しています。1つの仕事を完成させるため、現場チームみんなで協力し作り上げます。実践を通し仕事を覚えてきた中でチームのメンバーには助けをもらうことが多く、感謝しています。

チームの力が集結

● 現場監督、設計、営業

山田 佳奈子さん(44) 写真左

入社後現場に配属され、現場監督を経て1級建築士の資格を取得しました。1つの工事を行うには、多くの専門分野の人達の支えが必要です。男性が多くを占める業界ですが、女性が自分の力を試したいと思うならお勧めしたい業界です。



(株)姫野組にて

お三方に副社長からひとこと

山田さんは、現場代理人として、お客様との包容力あるコミュニケーションを図りながら精力的に業務をこなしており、次期幹部としての将来に期待しています。明井さんは、細やかな気遣いや主婦としての経験を生かしてお客様の心をつかみ、「あなたが担当で良かった」と感謝される現場監督です。住友さんには、女性ならではの視点での思い切った設計に期待しています。

● 建築設計の図面作成等

住友 佐知子さん(31) 写真右上

自分の描いた図面が実際に目の前に形となって現れる事にやりがいを感じています。仕事に集中しすぎて周りが見えなくなった時は、旅行などでリフレッシュして心も身体も柔らかくし、次に進むように心掛けています。

● 現場監督、模型作成等

明井 房代さん(49) 写真右下

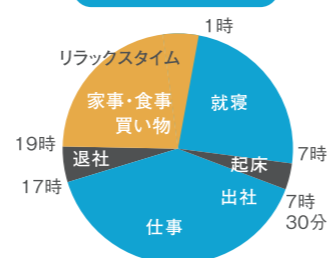
建築統括部で、女性ならではの細やかな目線で提案を行う現場監督として従事しています。たくさんの仲間と目標に向かって1つのものを造り上げるのがこの仕事の醍醐味です。完成したときはそれまでの苦勞を忘れるほど喜びを感じます。

女性も活躍できるコンクリート業界

生コンオペレーター 上坂 美穂さん(41)

試験部、製造部、運搬部、施工部といったそれぞれの専門部署が連携し業務を遂行されるなか、生コンの注文から現場確認、手配から出荷、請求まで出荷一連の段取りを担当しています。他に機械の遠隔操作や、PCでコンクリート骨材の配合作業など、女性も活躍できる仕事です。

上坂さんのある日



トラストコンクリート(株)にて



きれいな現場を心がけて

河川堤防維持工事等の現場代理人
安達 登志子さん(33)

接客販売や事務を経験、現在の仕事を始めて2年。建設工事だけでなく、工事現場周辺の清掃や竹の伐開など女性ならではの視点できれいな現場を心掛けています。施主さんからその仕事を認められたとき、やりがいを感じるとともに、この仕事を選んで良かったと実感します。／なでしこパトロールにて



測量現場で機器を使う東さん
テクノ徳島の某現場にて



現場代理人として指示を出す安達さん
/(株)井上組の現場にて

長年の測量キャリアを活かす

測量会社代表 東 直美さん(43)

県外測量会社勤務後、帰郷して測量会社を設立し現在に至ります。20代の頃は、男性に負けない気持ちで仕事に没頭していましたが、結婚・出産・育児を通し周囲の協力の大切さを実感、仕事の効率化など柔軟に考えるように。周りの意見を聞き、仕事に一生懸命取り組めば結果は後から付いてくるものだと思います。／テクノ徳島にて



仕事への姿勢に男女差はない!

施工図作成、材料発注、加工図製作、製品検査の一連に関わる仕事をしています。大変な事、周りに迷惑をかけて悔しい事もありますが、それよりも楽しさが勝る仕事をさせてもらっています。製造の仕事に関わるからこそものづくりを実感できるからです。女性も活躍できる業界だと思っています。／(有)古林製作所にて

建築鉄骨製品検査
上井 理恵さん(36)



図面を確認するのも現場監督の大事な仕事と、明井さん
/(株)姫野組の現場にて

現場女子つって、カッコイイ！



測量・施工計画等
勝楽 ひとみさん(48)

地域の人に感謝の言葉をかけてもらえる事がやりがいにつながっています。そして、一つの仕事を男女関係なく仲間として一緒に作りあげていく意識が大事だと思います。／(株)フジケン土木の現場にて

うまくできる？

ワーク・ライフ・バランス

女性が仕事を続ける上で、家庭と仕事の両立はとっても重要です。子育てする女性技術者の皆さんはどんな風に調整しているのか、両立する上で大事なことは何なのか？！を聞いてみました。



山田 佳奈子さん(44)



井坂 重美さん(42)

子供が産まれるとなかなか両立は難しい・・・子育て期間は仕事を休むことも考えてもいいですね。やりがいのある仕事なら、子供が大きくなってから復帰しても！

(株)カボテック勤務、現場監理補助、事務作業全般。結婚を機に仕事を離れ、育児終了後復帰。趣味はヨガ、料理、ものづくり。

仕事に手を抜くことなく、効率よくこなすことが大事ですね。

(株)姫野組勤務、建築統括部建築部長、1級建築士。見積・積算、営業、現場監督経験者でもあり、男性の中の潤滑油的な立ち位置。趣味は睡眠、早朝ウォーキング。



明井 房代さん(49)

子供が保育園の間は、ぎりぎりまで仕事をして子供には寂しい思いをさせましたが、頑張っていれば、何とかなるものです。

(株)姫野組・建築統括部工事課長を勤め、現場監督、模型作成、プレゼン資料作成等の業務を担う。何も無いところから形になったときの感動は得難いもの。趣味はバドミントン、ジョギング。



上坂 美穂さん(41)

出産の2日前まで仕事をしていました。充実して仕事を辞める選択肢はなかったですね。

トラストコンクリート(株)勤務。生コン手配、配合、段取り一連全てを担う。趣味は、ドライブやコンビニのはしご。

家族の協力、職場の人の理解。何よりも職場に必要な人間であること。

津山 郁子さん(43)

父が建設関係に勤めていたので、この仕事することに憧れていて、仕事は一生続けていきたいと思っています。

(株)フジタ建設コンサルタントに勤め、上・下水道・工業用水道の設計を担う。仕事を通じて夫と知り合う。仕事の後の楽しみはお酒やブルーレイ鑑賞。



「仕事を辞めることは全く考えていなくて、理解ある伴侶に巡り会えたことに感謝しています。」と語るお二人／(株)フジタ建設コンサルタントにて

大寺 礼子さん(43)

結婚して子供ができた時も仕事を辞める選択肢はなく、いかに続けられるかを考えていました。

(株)フジタ建設コンサルタントにて河川計画等に携わり、解析計算を得意とする技術士。趣味はお酒、オーボエ。肩肘を張らずに楽しみながらひょうひょうとしていくことがストレスを溜めないコツ。

どう考えていますか？

学校の先生、学生さん



女性研究者が働きやすい職場を

阿南高専助教
池添 純子さん(36)

高齢者に特化した住環境づくりや震災からの復興まちづくりなどを研究テーマに、少しでも問題の解決に貢献できるよう取り組むと同時に、建築の授業や学生指導の仕事に携わっています。先輩女性研究者たちが働きながら子育てをしていた苦労をいかに改善していくかが自分たちの世代の役割でもあると思っています。

池添助教に
笹田教授からひとこと

研究者としても教育者としても常に真摯で真面目な態度で熱心に取り組んでいます。継続し続けることが大切なので、現在、育児中ですが、職場の支援制度を利用して、無理をしないように心がけて業務を継続してほしいと思います。



多様な働き方を 楽しみながら

徳島大学助教
森本 恵美さん(42)

技術をどう経営に生かしていくか、技術そのものを社会はどのように評価するかといった観点の研究と講義を行っています。私は、専業主婦から大学受験して、学業と仕事を楽しんできましたので、学ぶ楽しさ、自分の可能性を拓く意義を伝えたいと思っています。大学では、研究と教鞭以外に、進路指導では、学生たちが私の経験できなかった世界に飛び立っていく姿を見ることができ、またその手助けができることに喜びを感じています。

森本助教に
山中教授からひとこと

調整が必要な多様なことがらを先方に適切に伝える能力に長けていて、学生からも頼もしく思える存在になっています。

IALOG

徳島大学の就職が決まった三人の女子学生さんと、森本助教の対談です。建設産業で働く女性として助教に聞いてみたいこと、助教から学生に伝えたいこと。

森 先生の感じる今の建設産業のことを教えてください。

森本 インフラの目的は豊かな経済を支え、暮らしを良くし、快適な生活や利便性を高めることだと思います。今後はロボットなどの最先端分野の導入は確実ですが、人の力はどんな時代にも必要です。そして細やかな心遣いのできる女性の活躍の場が広がっていく可能性は大きいと思います。



森 まゆこさん
土木職として
行政勤務予定

初村 建設産業で生かせる女性の強みを教えてください。

森本 今あるものを、いかにリユースして育てていくかという視点が必要になってきます。女性はその点において優れているため建設産業に向いていると考えます。また、ものごとに対して柔軟な考え方のできる点は女性の強みだと思います。



初村 知里さん
ハウスメーカー
勤務予定

京谷 学生時代の勉強は、これから働く上でどのように役立つのか教えてください。

森本 大学で学んだ土木三力(構造力学・土質力学・水理学)+コンクリート工学は、構造物との結びつきが理解できる点においてはすべての基礎知識となります。学ぶということは「考える」ことの基本となります。学ぶ=考える姿勢は、技術者として重要なことです。



京谷 妙美さん
コンサルタント
勤務予定

森本先生から、学生にこれだけは伝えておきたい!!

建設産業の魅力は、50年、100年先まで残るものを作ることで、地球と真摯に向き合えること、社会の基盤となることです。その一端を担う人としての誇りや喜びを持ってほしいと思います。前例がないからといって、言う前にあきらめずに、自分が正しいと思う意見は臆さず相手へきちんと伝えることが大切です。そうすることで建設産業も変化していくのではないのでしょうか。



森本 恵美 助教